校　訓（昭和６３年制定）　自　主　　友　愛　　創　造

仁保の風

仁保中だより

令和６年度第２号
2024年4月25日
山口市立仁保中学校
TEL：929-0028

【学校教育目標】ふるさとに誇りをもち、心豊かにたくましく未来を生きぬく生徒の育成

４月 17 日アユの放流を行いました。
今年度も本校は地域と共にある学校をめざします！

4月17日、晴天に恵まれ、春の風物詩である清らかな仁保川のせせらぎと、心地よく元気にたなびく鯉のぼりに囲まれ、1、2年生が伝統行事であるアユの放流を行いました。昨年は悪天候のため、中止となり、2年ぶりの開催となったようです。私も仁保に来る3、4年前に、どこからか聞きつけた情報をもと、仁保川の鯉のぼりを家族で見に来たことがあります。まだ小さかったわが子たち（現在高3女、小4女、小1男）の橋下で遊ぶ姿と、あの時の、たくさんの鯉のぼりの迫力と、美しい川のコントラスト、暖かい春の穏やか情景が思い出されると共に、この地域の校長として赴任したことに、何かのご縁と、一層のうれしさがこみ上げてきます。

話を元に戻しますと、本校の1、2年生は幼稚園、保育園児、小学生のアユを放流することのサポートを中心に行っていました。当日は予想以上の暑さとなりましたが、誰からも指示されることなく、自然に「大丈夫？」「バケツ持とうか？」と言った声かけを行うなど、この行事の最年長者は自分たちであるという自覚と、自分たちより小さな子どもたちを、安全に導かなければならないという使命感が自然と芽生え、行動が変容してきたように私には映りました。行事後も、各方面で「中学生のサポートする姿がとても感動的だった。」というお褒めの言葉もたくさん頂きました。このように、これらの体験を通して、自己肯定感が高まり、自信を深める経験ができたことは、地域保護者の皆様が、これまで大切にしてこられた、この伝統行事のおかげです。誠にありがとうございました。

現在の教育キーワードとして、「開かれた学校づくり」をよく耳にされることと思います。なぜ今「開かれた学校づくり」なのでしょうか？今後、AIの発達等により、職業の約半分はAIが行うと言われています。つまり、これからはAIにはできず、人間にしかできない力を身につけていくことが大切です。私は、これからの変化の激しい時代を生きていく子どもたちには、もはや学校内だけの学びだけではなく、地域行事や地域の人、自然、歴史、特色等の地域の教育資源から、様々な関わりや学びを通して、人と関わる力、想像する力、自分の考えを述べる力等、数値には表れない非認知能力を身につけることが大切であると考えています。それらが今年度示す、本校の学校経営ビジョンに「あいさつ」「かかわる力」「やりぬく力」「社会で通用する力」として、ちりばめられているのです。

有り難いことに、すでに地域の道の駅で行う「くすっと学習会」の3年目の充実発展のお話し、共興建設さん、（株）KDDIさんから、地域学習の検討や、「仁保くすのきネット」の方々から、様々なお取組のお話を頂いているところです。今年度も本校は地域と共にある学校をめざします。地域、保護者の皆様、未来に開くたくましい仁保っこの生きる力の育成のために、今年度もどうぞお力添えをよろしくお願いいたします。　（校長　糸本康浩）

今年度、スクールライフ、行事計画等はこちらで！（随時アップしていきます。）

こちらをクリック！

https://fa.fureai-cloud.jp/niho-j/

学校ホームページの充実を図っていきます。毎日の給食も画像でアップされますよ。